

平成25年度 高鍋高校OB祭 つなぐ、刻を越えて。



8月10日(土) 記念トークショー

GUEST

えびはら ゆり
蛸原 友里さん
(ファッションモデル)

宮崎市佐土原町出身。1979年10月3日生まれ。宮崎県立佐土原高等学校を卒業後、九州産業大学芸術学部へ進学。大学ではスペースデザインを専攻し、在学中にファッションモデルの仕事始める。2002年に上京後は本格的にモデル業を始動し、ファッション誌「CanCan」や「AneCan」などの専属モデルを務め、大手化粧品メーカーをはじめとする数々のテレビCMに出演。近年はモデルの枠を超えてタレント業など幅広い分野で活躍している。現在、日本で最も著名なモデルの1人であり「えびちゃん」の愛称で多くのファンから愛され続けている。



発行
宮崎県立高鍋高等学校
同窓会

宮崎県児湯郡高鍋町
大字北高鍋4262

TEL 0983・23・0005
FAX 0983・23・5096

URL <http://www.narumigaoka.jp/>

OB祭日程

◆平成25年8月9日(金)

7:30～終日 OB祭ゴルフコンペ
会場：宮崎座論梅GC

◆平成25年8月10日(土)

12:30～14:00 ①鳴海ヶ丘会総会
会場：高鍋町中央公民館会議室

14:25～ ②OB祭
会場：高鍋町中央公民館ホール

14:25～14:30 開会

14:35～14:55 オープニングイベント：和太鼓 漲

15:00～16:00 記念トークショー
ゲスト：蛸原友里さん(ファッションモデル)

16:10 閉会

17:30～19:00 ③OB祭懇親会(17:00 受付開始)
会場：ホテル四季亭

主催：鳴海ヶ丘会(宮崎県立高鍋高等学校同窓会)
主管：平成25年度高鍋高校OB祭実行委員会(平成2年卒)
後援：高鍋町

【実行委員会】

役職	氏名
実行委員長	石村 幸広
副実行委員長	濱田 啓子
事務局 局長	日高 茂利
事業推進局長	石崎 俊二
事業運営局長	河野 龍司

【事業運営局】

役職	氏名
企画運営部 会長	今井 孝洋
ゴルフ部 会長	濱本 明俊
懇親会部 会長	井戸川 隆

【事業推進局】

役職	氏名
販売部 会長	佐藤 英伸
広報部 会長	河野 眞治

【事務局】

役職	氏名
会計部 会長	内田 美香
総務部 会長	稲田 竜一
クラス役員部 会長	緒方 かおり

【ホームページ】
<http://h02takanabe.web.fc2.com/>



実行委員長 石村 幸広

平成二十五年高鍋高校
OB祭実行委員会

平成二十五年 高鍋高校OB祭の開催について

平成二十五年高鍋高校OB祭実行委員会を代表してご挨拶申し上げます。

私たちは、昨年十月に実行委員会を立ち上げて活動を始めてまいりました。今日までOB祭の開催準備が円滑に進めてこられましたのは偏に鳴海ヶ丘会会員の皆様をはじめ、高鍋高校関係者及び地域の皆様方の温かいご支援、ご協力の賜物と心より感謝申し上げます。

また、これまで鳴海ヶ丘会の各支部の総会に出席させていただき、県内外で活躍されているOBの方々を深めることができました。このような機会を与えていただきまして、重ねて感謝申し上げます。

さて、今年度のOB祭は平成二年卒業生総意のもとテーマを「つなぐ、刻(とき)を越えて。」といたしました。これは、これまで先輩方が築いてこられた高鍋高校の伝統や想いの全てを受け継ぎ、また将来へ繋いでいくことで、時間や場所、世代を超えて母校に対する想いを共有させていきたいとの思いを込めました。

この数年、高鍋高校は少子化の影響もあり募集に対して定員に満たない状況が続いております。鳴海ヶ丘会でも奨学金制度

の創設など魅力ある学校づくりにご尽力されるところですが、今年度のOB祭が、その一翼を担い、若い世代に高鍋高校のすばらしさを伝えることができます。

今年度のOB祭は恒例のゴルフコンペと、記念トークショーを企画しております。トークショーには本県出身で、ファッションモデルの蛸原友里さんをゲストにお迎えすることとしております。

蛸原友里さんにつきましては、ファッション誌の専属モデルや、大手化粧品メーカーのコマーシャルにも出演されており、日本のファッション界の中心でご活躍されております。トークショーではファッションの話だけでなく、故郷に対する思いなど幅広いお話が伺えるものと考えております。

また、オープニングイベントには「和太鼓 漲(ちよう)」の皆様による演奏で、会場を盛り上げていただきます。

最後になりましたが、私ども実行委員一同伝統あるOB祭の成功に向け、残された時間一杯取り組んで参る所存でございます。皆様方にはこれまで同様変わらぬご支援とご協力を賜りますようお願い申し上げます。

挨拶いたします。

なんきんはぜ

アリエナイはなし

美術を担当させていただいております津江政彦と申します。本校普通科を昭和60年度に卒業しました。本年度会報の初号から申し訳ないのですが失敗談の一つ。

学校全体の新入職員歓迎会の担当になり、名簿を見ながらメンバー全員で新しく来られた職員の方々の名札を作っていた4月4日に、

私「エッ!この名前、もしかして数学の?」
周囲「そうだけど?」
私「〇〇の先生じゃあ!」
周囲「エーッ!アリエナイ!」

そうなんです。アリエナイほど失礼なことに、私が本校2年生の時にお世話になった担任の横山康一先生が赴任されたことに、着任日の4月1日から3日間気がつかないでいたのです。うっかりというにもあんまりなのですぐにお詫びに伺うと、

「俺の方も気がつかなかったよ。」
と笑いながらささくにおっしゃっていただきました。先生は昔と変わらず温かかったです。鍋校時代から今までを振り返ると、「光陰矢の如し」の悔しい想いもありますが、「頑張ったところもあるさ」という慰めの想いもあります。

実は生物の猪股司先生も横山先生の教え子で私達は同級生でした。毎年OB祭に合わせて開かれていた同窓会が今年さらには懐かしさに満ちたものになりました。

ベランダ菜園のイチゴです。私が言うのも何ですが、「超カワイイ」です。

☆☆☆
(津江政彦)



同窓会の皆様へ



校長

首藤 忠一

同窓会「鳴海ヶ丘会」会員の皆様方には、日頃より本校発展のために多大な御支援・御協力を賜り、衷心より篤くお礼申し上げます。特に昨年度、創立九十周年記念事業を挙行いたしました際には、特段の計らいを賜り誠に有りました。誠にありがとうございました。

本校同窓会員数は三万名を越え、県内はもとより国内外の各方面、各界でのご活躍は在校生の誇りでもあり、励みでもあります。いま学校では、文武両道、師弟同行、心身學問、真善美、集中・機敏・奉仕という伝統的教育理念を根幹に据え、知を学び、徳を学び、心身の鍛錬に努め、社会に貢献する生徒の育成を目指すと、この教育目標を掲げ、「学力向上・進路実現」「基本的生活習慣の確立」「文武両道の推進」「保護者や地域に信頼される学校」という四つの重点目標を設定し、「生徒の可能性を最大限に伸ばす高鍋高等学校」をスローガンとして、地域の信頼・期待・ニーズに応えるべく取り組んでいます。特に進路実現には、OBの方々のご協力も得ながら、キャリア教育の充実を図り、生徒が主体的に進路選択できるよう取り組んでいます。また、普通科に探究的学習を取り入れた「探究科学コース」を新設し、新たな歴史を刻み始めたところで、これからも、よき伝統を継承しつつ、さらなる発展を遂げるべく職員が一丸となって様々な教育活動に取り組んでまいりますので、これまでと変わらぬ御支援の程お願い申し上げます。

今年も同窓会の伝統行事である恒例の高鍋高校OB祭が近づいてまいりました。今年も平成二年卒業の会の方々が実行委員となり、「つなぐ、刻(とき)を越えて」というテーマで開催されます。ゴルフコンペをはじめ、蛸原友里さんによる記念トークショー。そして盛大な懇親会も企画されており、OB祭を通して年代を超えた会員皆様の親睦と交流が深まり、「鳴海ヶ丘会」のより一層の充実・発展が図られることと思っております。

最後にになりましたが、OB祭実行委員の皆様のご尽力に感謝申し上げますとともに、高鍋高校同窓会「鳴海ヶ丘会」のますますの御発展と会員の皆様の御健康・御活躍を御祈念申し上げ、挨拶いたします。

探求心が意欲を高め、学力を伸ばす

本年度四月、新設された探究科学コースに四十三名の第一期生が入学しました。個性的で、意欲的な生徒たちばかりで、今後の成長が楽しみです。一年次は、コース独自の行事を四つ実施します。六月には、宮崎県埋蔵文化センターの先生をお招きして、考古学をテーマに講演や遺物の解説をして頂きました。この講演を通して、生徒たちは「物事を色々な視点から見ること」「ものごとを大成するためには、長期間かけて粘り強く取り組むこと」の大切さを学びとってくれたようです。この気持ちを持つ



平成25年度 高鍋高校OB職員

高鍋高校管理職

Table with 3 columns: 役職 (Position), 氏名 (Name), 在職期間 (Tenure). Rows include 校長 (Principal), 副校長 (Vice Principal), 教頭 (Head Teacher), and 事務長 (Secretary).

高鍋高校OB職員一覧

Table with 8 columns: 氏名 (Name), 主な校務分掌 (Main Duties), 部活動 (Activities), 教科 (Subjects). Lists various staff members and their roles.

平成24年度 同窓会費収支決算書

収入金額 4,342,828 円
支出金額 4,079,051 円
繰越金額 263,777 円

収入の部 (単位=円)

Table showing income details: 費目 (Item), 予算額 (Budget), 決算額 (Actual), 増減 (Change), 摘要 (Remarks).

支出の部 (単位=円)

Table showing expense details: 費目 (Item), 予算額 (Budget), 決算額 (Actual), 増減 (Change), 摘要 (Remarks).

(収支) 4,342,828円 - 4,079,051円 = 263,777円 (繰越金額)

平成25年度 鳴海ヶ丘会 事業計画(案)

H25. 7. 19
宮崎県立高鍋高等学校同窓会

Table with 3 columns: 日付 (Date), 曜日 (Day), 事業内容 (Activities). Lists planned events from April to March.

平成25年度高校総体結果一覧

ラグビー	優勝		ボート	男子：シングルスカル 優勝(井之上) 【九州大会・インターハイ出場】 ダブルスカル 2位(渡部・平山)【九州大会出場】 女子：ダブルスカル 優勝(岩切・谷口) 【九州大会・インターハイ出場】 シングルスカル 2位(佐藤)【九州大会出場】
ホッケー	優勝		卓球	男子：団体戦 3回戦 個人戦 シングルス 3回戦(内八重)(戸田)
テニス	男子：団体戦 2回戦 個人戦 4回戦(則松) 女子：団体戦 ベスト8 個人戦 シングルス ベスト16(緒方・中島) ダブルス ベスト32(伊東・山中)(黒岩・鈴木)		ソフトテニス	男子：団体戦 1回戦 個人戦 3回戦進出(山口・安松) 女子：団体戦 1回戦 個人戦 3回戦(矢原・寺原)
空手	男子：団体戦 (形) 3位 個人戦 (組手) 7位(小牟田)【九州大会出場】 女子：団体戦 (組手) 準優勝【九州大会出場】 (形) 3位 個人戦 (組手) 4位(島田)・7位(中嶋)【九州大会出場】		バドミントン	男子：個人戦 シングルス・ベスト16(江藤) 女子：個人戦 ダブルス ベスト8(神田・三輪) 【九州大会・インターハイ出場】
バレーボール	男子：ベスト16 女子：ベスト16		剣道	男子：団体戦 ベスト8 女子：団体戦 ベスト8 個人戦 ベスト16(米良・久保田)
バスケットボール	男子：2回戦 女子：3回戦		柔道	男子：個人戦 2回戦(篠原)(幸田) 女子：団体戦 1回戦 個人戦 1回戦(甲斐) 2回戦(阿部)
ハンドボール	男子：1回戦 女子：ベスト8		陸上	男子：走高跳 4位(諏訪)【南九州大会出場】 200m 3位(大山)【南九州大会出場】 女子：100m 5位(谷)【南九州大会出場】
サッカー	1回戦		水泳	女子：100mバタフライ 5位(中武)【九州大会出場】 200mバタフライ 4位(中武)【九州大会出場】

九州高校総体結果

[ラグビー] 高鍋 22-28 佐賀工業(佐賀)	[書道部] 第31回県高等学校席上揮毫大会 参加校27校、269名
[ホッケー] 高鍋 0-3 小国(熊本) 高鍋 0-2 玄界(福岡)	団体の部 第4位 個人の部 1年 第2位 西森 史菜 第4位 市島 葉香 優秀賞 吉岡 涼子、浦 侑希、斉藤 夕貴、 坂口 詩織、山崎 晴菜
[バドミントン] 高鍋 0-2 大分西(大分)	2年 第4位 恵利 芽衣 優秀賞 佐藤 菜々美、今井 美沙
[ボート] 男子シングルスカル 準決勝進出 女子シングルスカル 準決勝進出	3年 優秀賞 林 宏樹、黒木 美波、山下 葵
[陸上] 諏訪 一真(3年)走高跳決勝 1m75cm 谷 知子(2年)女子100m競走予選 13"15 大山 和茂(1年)男子200m競走予選 23"19	

「九州大会を終えて」

今年度1年生7名が入部し現在部員数が18名になりました。県総体で8連覇を達成し、6月15日から熊本県小国町で実施された九州総体に臨みました。「インターハイ出場」を目標に選手達は頑張ってきましたが、九州大会の結果は、熊本代表の小国高校に0-3、福岡県代表の玄界高校に0-2で破れ、予選リーグ敗退となりました。インターハイ出場はできませんでしたが、雨の中選手たちはよく頑張ってくれました。

九州大会を終えて

陸上競技部顧問 橋本 玲子

六月に熊本市で陸上競技九州地区予選大会が行われた。本校からは男子走り高跳びと女子100m、男子200mで三人出場することができた。競技場に集まったのは、なるほど各県代表に相応しく選出された選手たちだった。宮崎県選手団の暑い声援に後押しされながら、本校の選手たちも自分なりに一杯競技に挑んだ。走り高跳びでは、2mの記録を持つ選手達には及ばなかったが、県予選よりも5cm記録を伸ばすことができた。主将だった彼は、高校から始めた陸上だが、最後にこころで来られた。悔いのない3年間だったと語る。短距離の二人は、他県選手の速さを前に県予選での伸びやかな走りを見せられず、わずかな差で準決勝進出を逃した。大会後に選手と話をしたが、「自分がこの九州の場に立てただけでも、笑顔でも来年は記録を狙いたい」と意気込みを新たに、笑顔で語った。

かつては盛んだった本校陸上部も、ここ数年活躍の場には恵まれていなかった。今回の九州大会出場が、部員達の大きな刺激になったことは間違いないし、高鍋陸上部の新しい一歩になったと思ってる。陸上部を引き継いで二年。経験のない私が部をまとめるのが不安は常に感じていた。専門的な指導ができない歯痒さは今もある。しかし、生徒達は皆で協力し、切磋琢磨しながら確実に成長してくれている。本校陸上部のモットーは「自分達で考え、作り上げる」

九州総体を終えて

ボート部顧問 柴田 友輔

昨年6月よりボート同好会を発足させて頂き、1年が経った。集まってくれた部員は全員競技未経験者で、初期の練習は練習場の掃除と古くなったボートの修理やメンテナンスの毎日だった。その中でもボートを漕ぐ楽しさを知ってもらい、日々の練習に積極的になり組んでくれた部員に感謝したい。ボート同好会として活動して今年から部に昇格させてもらい新たに6名の新入部員を迎えた。今回九州総体に参加し県外チームとの力の差を痛感していたが、これがスタートでありこれから先も多くの負けを経験していきたくて欲しい。九州総体を通して部員は様々な事を学んでくれた。ボート競技の人口は他競技に比べて決して多くはないが、チームとして強みにしていきたい。競争相手が少ないという事でもなく、自分たちが今後の土台を作る貴重な経験が出来ると言っている。日々部員に言い聞かせているが全国を目指す姿勢や意識にチーム数は関係ない。高鍋高校には一流の姿勢を学べる部活が多くあり、ボート部もそこに肩を並べたい。

九州大会を終えて

女子バドミントン部顧問 川崎 郁美

6月14日から17日まで、長崎県大村市にて九州大会が行われた。県予選では神田・三輪が女子ダブルス2位、九州でこれくらい通用するの、全く想像がつかなかった。初日の団体戦を覗いて、レベルの高さに驚いた。宮崎県の上位層がことごとくやられている。「ここまで戦えるか?これが私の第一印象だった。当日、緊張した面持ちで試合に臨んだ。1セット目、点を取られたら取り返すいい試合運びだった。2セット目はミスが続く。体がいつものように動かず敗退。しかしまだやれる!上手くなる!という期待がもてる試合だった。8月にインターハ

九州大会を終えて

高鍋高校ラグビー部監督 山本 巧

1月の県新人戦決勝戦で日向に敗れ、悔しい思いをバネに練習を積み重ね、県高校総体では前半の劣勢を何とかひっくり返し雪辱を果たすことができた。九州大会の相手は春の合宿で完敗した佐賀工業。いつもFWの力勝負で屈してしまう相手でしたが、この試合はそのFWがよく頑張った。前半開始早々2トライを先制した。その後自らのミスや試合運びのまずさから、逆転され突き放されいとも同じ展開になりました。逆転された後、食らいつき、高鍋らしいラグビーで残り5分で6点差まで迫りました。残り時間必死に攻め続けたものの最後はミスで力尽きました。負けはしたもののこれまでは遠く試合内容に手応えを感じたようです。しかし、県予選でもそうであったように、この時のミスやFWのDFのD/Fなど課題はまだたくさんあります。これから始まる夏で力をつけて、勝負の秋に向けてチームの底上げをしていきたいと考えています。今回もたくさんの方の支えや声援のおかげで思いきりブレい出ました。深く感謝するとともに、更なるレベルアップを図り、全国大会へとつなげていきたいと思っております。ありがとうございました。

席上揮毫大会を終えて

書道部顧問 長友 瑞枝

六月に行われた県席上揮毫大会で団体の部第4位、一年個人の部で2位と4位、二年個人の部で4位、優秀賞に十名と多数の入賞者を出すことができました。参加校27校、参加者数89名で運動部の高校総体とも言われ、最も実力を問われる大会です。今年は一学年が19名も入部し現在35名で活動しています。もちろん県内では最大の部員数です。四月から土・日も休まず、肩をぶつけるようにしながら書道室の床いっぱいこぼれ墨をこぼして練習をしてきました。七月には昨日に引き続き、県代表として九州大会にも出場します。この明るさ、団結力、パワーで今後の活動も頑張りたいと思います。



第60回 NHK杯 高校放送コンテスト結果

研究発表部門
「鍋高流SEの録り方」第1位
101 小山 結梨 香

今回は作品を作った全員の努力で、優勝という嬉しい結果を残すことができました。この作品を完成させるまでには、たくさんの方の苦勞と顧問の先生のご指導がありました。支えて下さった人達の為に、全国大会頑張ります。

ラジオドキュメント部門
「無くて七癖」第1位
305 津江 裕子

今回の作品は先生たちならではの癖や出来事にテーマを置く珍しい作品で、それゆえに苦勞したこともありましたが、一位をとれたのは顧問の井上先生や部員のみんな、そして取材を助けてくださった先生方のおかげです。

ラジオドキュメント部門
「筆箱をのぞけば」第2位
306 小坂 亜香里

今回私達は2位をとることができました。初めは自分達の思うようにならなくて大変でしたが、部員同士で協力し合い、作品を完成することができました。全国大会で多くの作品を見て、勉強してきたいと思っております。

テレビドキュメント部門
「巧に迫る」第2位
303 進 さくら

私達はラグビー部顧問山本先生のドキュメント番組をつくり2位に入賞し、全国大会に出場できます。今まで支えてくれた家族、最後まで指導、手直しを下さった井上先生のおかげでここまで来ることができました。全国大会では入賞を目指して頑張ります。